

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際マルチビジネス専門学校
設置者名	学校法人 東杜学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の授業時数又は単位数	省令で定める授業時数又は基準単位数	配置困難
商業実務専門課程	国際観光学科 トラベル専攻	夜・通信	1127.0	160	
	国際観光学科 エアポートビジネス専攻	夜・通信	1267.0	160	
	国際観光学科 トラベル外国語専攻	夜・通信	1009.4	160	
商業実務専門課程	国際ホテル学科 ホテル専攻	夜・通信	1337.0	160	
	国際ホテル学科 料飲サービス専攻	夜・通信	1360.8	160	
	国際ホテル学科 ホテル外国語専攻	夜・通信	1055.6	160	
	国際ホテル学科 夜間部	夜・通信	666.4	90	
商業実務専門課程	ブライダルビジネス学科 ブライダル専攻	夜・通信	1288.0	160	
	ブライダルビジネス学科 ブライダルスタイリスト専攻	夜・通信	1477.0	160	
商業実務専門課程	販売ビジネス学科 ショップビジネス専攻	夜・通信	1031.8	160	
	販売ビジネス学科 ファッションビジネス専攻	夜・通信	1125.6	160	
	販売ビジネス学科 ビジネス外国語専攻	夜・通信	844.2	160	
商業実務専門課程	総合英語学科 2年コース	夜・通信	166.6	160	※
	総合英語学科 1年コース	夜・通信	23.8	80	※
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ <http://www.mbc.ac.jp>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由) 総合英語学科は、特定の職業を想定せず、専ら英語に関する知識・技能の修得を目的としているため、実務経験を有する教員による授業科目を配置することが困難である。 1年次に4ヵ月間の海外留学を必修単位としており、学生が実用的な英語の技能を修得するための学習環境は整備している。

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際マルチビジネス専門学校
設置者名	学校法人 東杜学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ	http://www.mbc.ac.jp
--------	---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士	2017.7.16 ～2020.7.15	組織運営体制に対する チェック機能
非常勤	税理士	2017.7.16 ～2020.7.15	組織運営体制に対する チェック機能
非常勤	東北学院大学 名誉教授	2017.7.16 ～2020.7.15	組織運営体制に対する チェック機能
非常勤	株式会社 JTB	2017.7.16 ～2020.7.15	組織運営体制に対する チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際マルチビジネス専門学校
設置者名	学校法人 東杜学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) シラバスの作成に当たっては、担当教員にシラバスの共通フォーマットを配布し、年間授業計画、担当教員の実務経験の有無、学習到達目標、授業の進め方、試験の実施方法、成績評価方法等を具体的に記載してもらい、その内容を教務部にて精査した上でホームページ上に公表することとする。 作成時期：3月～4月 公表時期：5月下旬	
授業計画書の公表方法	ホームページ http://www.mbc.ac.jp
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ◎本校は、各学年において総時間数の80%以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ●各授業科目については、以下2つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が80%以上であること。 ・学期末試験の評価が60点以上であること。 ●学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ●各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本校では、GPAによる成績評価を実施している。
GPAの算出方法は以下の通りである。

①科目ごとに期末試験の得点を以下の5段階に分け、GP (Grade Point) を設定する。

期末試験の得点	評価	GP
90～100	S 特に優れた成績である	4
80～89	A 優れた成績である	3
70～79	B 概ね妥当な成績である	2
60～69	C 合格に必要な最低限度を満たした成績である	1
0～59	F 合格には至らない成績である	0

※出席率80%以上が評価の前提であり、出席率80%未満の科目はすべて不可(F)とする。

②以下の計算式によりGPAを算出する。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{各科目の単位数} \times \text{GP}) \text{の合計}}{\text{履修した講義の総単位数}}$$

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページ <http://www.mbc.ac.jp>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。

進級・卒業の認定

◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の80%以上である場合に認定する。

◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が1年毎に総時間数の80%以上を履修した場合に認定する。

◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号(2年課程のみ)を授与する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページ <http://www.mbc.ac.jp>

様式第2号の4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4－①を用いること。

学校名	国際マルチビジネス専門学校
設置者名	学校法人 東杜学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ http://www.mbc.ac.jp
収支計算書又は損益計算書	ホームページ http://www.mbc.ac.jp
財産目録	ホームページ http://www.mbc.ac.jp
事業報告書	ホームページ http://www.mbc.ac.jp
監事による監査報告（書）	ホームページ http://www.mbc.ac.jp

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	国際観光学科 トラベル専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2254 単位時間／単位	924.0 単位時間 /単位	770.0 単位時間 /単位	560.0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人の内数		15 人	0 人	3 人	31 人	34 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
(概要)							
◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。							
◎授業は 1 時限 70 分とする。							
◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。							
<昼間部>			<夜間部>				
1 時限 9：20～10：30			6 時限 18：00～19：10				
2 時限 10：40～11：50			7 時限 19：20～20：30				
昼休み 11：50～12：50							
3 時限 12：50～14：00							
4 時限 14：10～15：20							
5 時限 15：30～16：40							
成績評価の基準・方法							
(概要)							
◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。							
◎単位修得の規定は次の通りとする。							
● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。							
・学期ごとの出席率が 80%以上であること。							
・学期末試験の評価が 60 点以上であること。							
● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。							
● 各種検定試験に合格した場合。							
◎学期中の出席率の開示はしない。							
※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。							
◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。							

卒業・進級の認定基準 (概要)
本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等 (概要)
入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアカウンセラーによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12 人 (100%)	0 人 (0%)	11 人 (91.7%)	1 人 (0.83%)
(主な就職、業界等)			
旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容)			
卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者、AXESS 実用検定（国内・国際）、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、金銭的事由等		

(中退防止・中退者支援のための取組)
早期面談、保護者連絡・面談、学費分割相談、キャリアカウンセラーによる カウンセリング、休学の実施、等

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	国際観光学科 エアポートビジネス専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2275 単位時間／単位	852.6 単位時間 /単位	810.6 単位時間 /単位	611.8 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人の内数		3 人	0 人	3 人	31 人	34 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
(概要)							
◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。							
<昼間部>				<夜間部>			
1 時限 9：20～10：30				6 時限 18：00～19：10			
2 時限 10：40～11：50				7 時限 19：20～20：30			
昼休み 11：50～12：50							
3 時限 12：50～14：00							
4 時限 14：10～15：20							
5 時限 15：30～16：40							

成績評価の基準・方法							
(概要)							
◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80%以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。							

卒業・進級の認定基準 (概要)
本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等 (概要)
入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアカウンセラーによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2 人 (100%)	0 人 (0%)	2 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容)			
卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者、AXESS 実用検定（国内・国際）、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	1 人	33.3%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、金銭的事由等		

(中退防止・中退者支援のための取組)

早期面談、保護者連絡・面談、学費分割相談、キャリアカウンセラーによる
カウンセリング、休学の実施、等

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士															
商業実務		商業実務専門課程	国際観光学科 トラベル外国語専攻		○																
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数		開設している授業の種類																	
	講義			演習	実習	実験	実技														
2 年	昼間	2396.8 単位時間／単位		947.8 単位時間 /単位	889.0 単位時間 /単位	560.0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位														
	単位時間／単位																				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数															
70 人の内数		14 人	0 人	3 人	31 人	34 人															
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																					
（概要）																					
◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。 <table><tr><td><昼間部></td><td><夜間部></td></tr><tr><td>1 時限 9：20～10：30</td><td>6 時限 18：00～19：10</td></tr><tr><td>2 時限 10：40～11：50</td><td>7 時限 19：20～20：30</td></tr><tr><td>昼休み 11：50～12：50</td><td></td></tr><tr><td>3 時限 12：50～14：00</td><td></td></tr><tr><td>4 時限 14：10～15：20</td><td></td></tr><tr><td>5 時限 15：30～16：40</td><td></td></tr></table>								<昼間部>	<夜間部>	1 時限 9：20～10：30	6 時限 18：00～19：10	2 時限 10：40～11：50	7 時限 19：20～20：30	昼休み 11：50～12：50		3 時限 12：50～14：00		4 時限 14：10～15：20		5 時限 15：30～16：40	
<昼間部>	<夜間部>																				
1 時限 9：20～10：30	6 時限 18：00～19：10																				
2 時限 10：40～11：50	7 時限 19：20～20：30																				
昼休み 11：50～12：50																					
3 時限 12：50～14：00																					
4 時限 14：10～15：20																					
5 時限 15：30～16：40																					
成績評価の基準・方法																					
（概要）																					
◎本校は、各学年において総時間数の 80％以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・ 学期ごとの出席率が 80％以上であること。 ・ 学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。																					

卒業・進級の認定基準 (概要)
本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアカウンセラーによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2 人 (100%)	0 人 (0%)	2 人 (95.3%)	4 人 (4.7%)
(主な就職、業界等)			
旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容)			
卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者、AXESS 実用検定（国内・国際）、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12 人	2 人	16.7%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、金銭的事由等		

(中退防止・中退者支援のための取組)

早期面談、保護者連絡・面談、学費分割相談、キャリアカウンセラーによる
カウンセリング、休学の実施、等

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	国際ホテル学科 ホテル専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2249.8 単位時間／単位	1331.4 単位時間 /単位	350 単位時間 /単位	568.4 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人の内数		37 人	1 人	3 人	26 人	29 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
(概要)							
◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。							
◎授業は 1 時限 70 分とする。							
◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。							
<昼間部>				<夜間部>			
1 時限 9：20～10：30				6 時限 18：00～19：10			
2 時限 10：40～11：50				7 時限 19：20～20：30			
昼休み 11：50～12：50							
3 時限 12：50～14：00							
4 時限 14：10～15：20							
5 時限 15：30～16：40							
成績評価の基準・方法							
(概要)							
◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。							
◎単位修得の規定は次の通りとする。							
● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。							
・学期ごとの出席率が 80%以上であること。							
・学期末試験の評価が 60 点以上であること。							
● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。							
● 各種検定試験に合格した場合。							
◎学期中の出席率の開示はしない。							
※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。							
◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。							

卒業・進級の認定基準 (概要)
本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等 (概要)
入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアカウンセラーによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10 人 (100%)	0 人 (0%)	10 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容)			
卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
ホテルビジネス実務検定、レストランサービス技能検定、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28 人	2 人	7.1%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、金銭的事由等		

(中退防止・中退者支援のための取組)

早期面談、保護者連絡・面談、学費分割相談、キャリアカウンセラーによる
カウンセリング、休学の実施、等

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	国際ホテル学科 料飲サービス専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2249.8 単位時間／単位	1188.6 単位時間 /単位	302.4 単位時間 /単位	758.8 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人の内数		8 人	0 人	3 人	26 人	29 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
(概要)							
◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。							
◎授業は 1 時限 70 分とする。							
◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。							
<昼間部>			<夜間部>				
1 時限 9：20～10：30			6 時限 18：00～19：10				
2 時限 10：40～11：50			7 時限 19：20～20：30				
昼休み 11：50～12：50							
3 時限 12：50～14：00							
4 時限 14：10～15：20							
5 時限 15：30～16：40							
成績評価の基準・方法							
(概要)							
◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。							
◎単位修得の規定は次の通りとする。							
● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。							
・学期ごとの出席率が 80%以上であること。							
・学期末試験の評価が 60 点以上であること。							
● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。							
● 各種検定試験に合格した場合。							
◎学期中の出席率の開示はしない。							
※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。							
◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。							

卒業・進級の認定基準 (概要)
本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が1年毎に総時間数の80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2年課程のみ）を授与する。
学修支援等 (概要)
入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアカウンセラーによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容)			
卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
ホテルビジネス実務検定、レストランサービス技能検定、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	1人	11.1%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、金銭的事由等		

(中退防止・中退者支援のための取組)

早期面談、保護者連絡・面談、学費分割相談、キャリアカウンセラーによる
カウンセリング、休学の実施、等

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	国際ホテル学科 ホテル外国語専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2249.8 単位時間／単位	1283.8 単位時間 /単位	445.2 単位時間 /単位	520.8 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
	単位時間／単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人の内数		15 人	1 人	3 人	26 人	29 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
(概要)							
◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。							
◎授業は 1 時限 70 分とする。							
◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。							
<昼間部> 1 時限 9：20～10：30 2 時限 10：40～11：50 昼休み 11：50～12：50 3 時限 12：50～14：00 4 時限 14：10～15：20 5 時限 15：30～16：40 <夜間部> 6 時限 18：00～19：10 7 時限 19：20～20：30							
成績評価の基準・方法							
(概要)							
◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。							
◎単位修得の規定は次の通りとする。							
● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。							
・学期ごとの出席率が 80%以上であること。							
・学期末試験の評価が 60 点以上であること。							
● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。							
● 各種検定試験に合格した場合。							
◎学期中の出席率の開示はしない。							
※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。							
◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。							

卒業・進級の認定基準 (概要)
本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が1年毎に総時間数の80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2年課程のみ）を授与する。
学修支援等 (概要)
入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアカウンセラーによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	0人 (0%)	13人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容)			
卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
ホテルビジネス実務検定、レストランサービス技能検定、等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	1人	4.5%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、金銭的事由等		

(中退防止・中退者支援のための取組)

早期面談、保護者連絡・面談、学費分割相談、キャリアカウンセラーによる
カウンセリング、休学の実施、等

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	国際ホテル学科 夜間部				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	夜間	1087.8 単位時間／単位	842.4 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	246.4 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		10 人	0 人	3 人	5 人	8 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
(概要)							
◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。							
◎授業は 1 時限 70 分とする。							
◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。							
<昼間部>				<夜間部>			
1 時限 9：20～10：30				6 時限 18：00～19：10			
2 時限 10：40～11：50				7 時限 19：20～20：30			
昼休み 11：50～12：50							
3 時限 12：50～14：00							
4 時限 14：10～15：20							
5 時限 15：30～16：40							
成績評価の基準・方法							
(概要)							
◎本校は、各学年において総時間数の 80％以上の履修及び単位制とする。							
◎単位修得の規定は次の通りとする。							
● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。							
・学期ごとの出席率が 80％以上であること。							
・学期末試験の評価が 60 点以上であること。							
● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。							
● 各種検定試験に合格した場合。							
◎学期中の出席率の開示はしない。							
※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。							
◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。							

卒業・進級の認定基準 (概要)
本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等 (概要)
入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアカウンセラーによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (95.3%)	0 人 (4.7%)
(主な就職、業界等)			
旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容)			
卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
ホテルビジネス実務検定、レストランサービス技能検定、等			
(備考)（任意記載事項）			
2019 年度新設の学科のため、卒業生数は 0 となっている。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		

(中退防止・中退者支援のための取組)

早期面談、保護者連絡・面談、学費分割相談、キャリアカウンセラーによる
カウンセリング、休学の実施、等

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ブライダルビジネス学科 ブライダル専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2154.6 単位時間／単位	771.4 単位時間 /単位	368.2 単位時間 /単位	1015 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人の内数		13 人	0 人	3 人	26 人	29 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
（概要）							
◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。							
◎授業は 1 時限 70 分とする。							
◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。							
<昼間部>				<夜間部>			
1 時限 9：20～10：30				6 時限 18：00～19：10			
2 時限 10：40～11：50				7 時限 19：20～20：30			
昼休み 11：50～12：50							
3 時限 12：50～14：00							
4 時限 14：10～15：20							
5 時限 15：30～16：40							
成績評価の基準・方法							
（概要）							
◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。							
◎単位修得の規定は次の通りとする。							
● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。							
・ 学期ごとの出席率が 80%以上であること。							
・ 学期末試験の評価が 60 点以上であること。							
● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。							
● 各種検定試験に合格した場合。							
◎学期中の出席率の開示はしない。							
※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。							
◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。							

卒業・進級の認定基準 (概要)
本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等 (概要)
入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアカウンセラーによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11 人 (100%)	0 人 (0%)	11 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容)			
卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
WBJ「認定ウェディングプランナー」、WBJ「認定ドレスコーディネーター」、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	1 人	5.6%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、金銭的事由等		

(中退防止・中退者支援のための取組)

早期面談、保護者連絡・面談、学費分割相談、キャリアカウンセラーによる
カウンセリング、休学の実施、等

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		ブライダルビジネス学科 ブライダル スタイリスト専攻		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数			開設している授業の種類				
					講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2272.2 単位時間／単位			723.8 単位時間 /単位	320.6 単位時間 /単位	1227.8 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
					単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員		うち留学生数		専任教員数		兼任教員数	
70 人の内数		8 人		0 人		3 人		26 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）									
(概要)									
◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。 <昼間部> 1 時限 9：20～10：30 2 時限 10：40～11：50 昼休み 11：50～12：50 3 時限 12：50～14：00 4 時限 14：10～15：20 5 時限 15：30～16：40 <夜間部> 6 時限 18：00～19：10 7 時限 19：20～20：30									
成績評価の基準・方法									
(概要)									
◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80%以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。									

卒業・進級の認定基準 (概要)
本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等 (概要)
入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアカウンセラーによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	7 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容)			
卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
WBJ「認定ウェディングプランナー」、WBJ「認定ドレスコーディネーター」、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		

(中退防止・中退者支援のための取組)

早期面談、保護者連絡・面談、学費分割相談、キャリアカウンセラーによる
カウンセリング、休学の実施、等

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士																										
商業実務		商業実務専門課程	販売ビジネス学科 ショップビジネス専攻	○																											
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類																												
			講義	演習	実習	実験	実技																								
2 年	昼間	2335.2 単位時間／単位	1376.2 単位時間 /単位	103.6 単位時間 /単位	855.4 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位																								
			単位時間／単位																												
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数																									
30 人の内数		9 人	0 人	2 人	25 人	27 人																									
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																															
(概要)																															
◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。 <昼間部> <夜間部> 1 時限 9：20～10：30 2 時限 10：40～11：50 昼休み 11：50～12：50 3 時限 12：50～14：00 4 時限 14：10～15：20 5 時限 15：30～16：40 6 時限 18：00～19：10 7 時限 19：20～20：30 <tr><td colspan="8">成績評価の基準・方法</td></tr> <tr><td colspan="8">(概要)</td></tr> <tr><td colspan="8"> ◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80%以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。 </td></tr>								成績評価の基準・方法								(概要)								◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80%以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。							
成績評価の基準・方法																															
(概要)																															
◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80%以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。																															

卒業・進級の認定基準 (概要)
本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等 (概要)
入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアカウンセラーによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3 人 (100%)	0 人 (0%)	3 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容)			
卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
販売士検定、パーソナルカラリスト検定、秘書技能検定、等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6 人	1 人	14.3%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、金銭的事由等		

(中退防止・中退者支援のための取組)

早期面談、保護者連絡・面談、学費分割相談、キャリアカウンセラーによる
カウンセリング、休学の実施、等

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	販売ビジネス学科 ファッションビジネス専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2382.8 単位時間／単位	1328.6 単位時間 ／単位	198.8 単位時間 ／単位	855.4 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人の内数		5 人	0 人	2 人	25 人	27 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
(概要)							
◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。							
◎授業は 1 時限 70 分とする。							
◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。							
<昼間部>				<夜間部>			
1 時限 9：20～10：30				6 時限 18：00～19：10			
2 時限 10：40～11：50				7 時限 19：20～20：30			
昼休み 11：50～12：50							
3 時限 12：50～14：00							
4 時限 14：10～15：20							
5 時限 15：30～16：40							
成績評価の基準・方法							
(概要)							
◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。							
◎単位修得の規定は次の通りとする。							
● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。							
・学期ごとの出席率が 80%以上であること。							
・学期末試験の評価が 60 点以上であること。							
● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。							
● 各種検定試験に合格した場合。							
◎学期中の出席率の開示はしない。							
※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。							
◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。							

卒業・進級の認定基準 (概要)
本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等 (概要)
入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアカウンセラーによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	4 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容)			
卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
ファッション販売能力検定、ファッションビジネス能力検定、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		

(中退防止・中退者支援のための取組)

早期面談、保護者連絡・面談、学費分割相談、キャリアカウンセラーによる
カウンセリング、休学の実施、等

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	販売ビジネス学科 ビジネス外国語専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2478 単位時間／単位	1482.6 単位時間 /単位	151.2 単位時間 /単位	844.2 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人の内数		4 人	0 人	2 人	25 人	27 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
(概要)							
◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。							
◎授業は 1 時限 70 分とする。							
◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。							
<昼間部>				<夜間部>			
1 時限 9：20～10：30				6 時限 18：00～19：10			
2 時限 10：40～11：50				7 時限 19：20～20：30			
昼休み 11：50～12：50							
3 時限 12：50～14：00							
4 時限 14：10～15：20							
5 時限 15：30～16：40							
成績評価の基準・方法							
(概要)							
◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。							
◎単位修得の規定は次の通りとする。							
● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。							
・学期ごとの出席率が 80%以上であること。							
・学期末試験の評価が 60 点以上であること。							
● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。							
● 各種検定試験に合格した場合。							
◎学期中の出席率の開示はしない。							
※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。							
◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。							

卒業・進級の認定基準 (概要)
本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等 (概要)
入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアカウンセラーによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1 人 (100%)	0 人 (0%)	1 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容)			
卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
販売士検定、パーソナルカラーリスト検定、秘書技能検定、など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		

(中退防止・中退者支援のための取組)

早期面談、保護者連絡・面談、学費分割相談、キャリアカウンセラーによる
カウンセリング、休学の実施、等

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	総合英語学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2102.8 単位時間／単位	1016.4 単位時間 /単位	414.4 単位時間 /単位	672.0 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人の内数		11 人	0 人	3 人	17 人	20 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
(概要)							
◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。							
◎授業は 1 時限 70 分とする。							
◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。							
<昼間部>				<夜間部>			
1 時限 9：20～10：30				6 時限 18：00～19：10			
2 時限 10：40～11：50				7 時限 19：20～20：30			
昼休み 11：50～12：50							
3 時限 12：50～14：00							
4 時限 14：10～15：20							
5 時限 15：30～16：40							
成績評価の基準・方法							
(概要)							
◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。							
◎単位修得の規定は次の通りとする。							
● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。							
・学期ごとの出席率が 80%以上であること。							
・学期末試験の評価が 60 点以上であること。							
● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。							
● 各種検定試験に合格した場合。							
◎学期中の出席率の開示はしない。							
※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。							
◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。							

卒業・進級の認定基準
(概要)
本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要)
入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアカウンセラーによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8 人 (100%)	0 人 (0%)	8 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容)			
卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
実用英語技能検定、TOEIC、など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		

(中退防止・中退者支援のための取組)

早期面談、保護者連絡・面談、学費分割相談、キャリアカウンセラーによる
カウンセリング、休学の実施、等

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	総合英語学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼間	1024.8 単位時間／単位	320.6 単位時間 /単位	189.0 単位時間 /単位	515.2 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人の内数		2 人	0 人	3 人	17 人	20 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
(概要)							
◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。							
◎授業は 1 時限 70 分とする。							
◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。							
<昼間部>				<夜間部>			
1 時限 9：20～10：30				6 時限 18：00～19：10			
2 時限 10：40～11：50				7 時限 19：20～20：30			
昼休み 11：50～12：50							
3 時限 12：50～14：00							
4 時限 14：10～15：20							
5 時限 15：30～16：40							
成績評価の基準・方法							
(概要)							
◎本校は、各学年において総時間数の 80％以上の履修及び単位制とする。							
◎単位修得の規定は次の通りとする。							
● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。							
・ 学期ごとの出席率が 80％以上であること。							
・ 学期末試験の評価が 60 点以上であること。							
● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。							
● 各種検定試験に合格した場合。							
◎学期中の出席率の開示はしない。							
※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。							
◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。							

卒業・進級の認定基準 (概要)
本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等 (概要)
入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアカウンセラーによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2 人 (100%)	2 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容)			
卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
実用英語技能検定、TOEIC、など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		

(中退防止・中退者支援のための取組)

早期面談、保護者連絡・面談、学費分割相談、キャリアカウンセラーによる
カウンセリング、休学の実施、等

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
全学科共通	100,000 円	562,000 円	261,000 円	施設設備整備費、実習費、 教育充実料
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
ホームページ http://www.mbc.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
学校教育及び学校運営について、現状を点検し改善を図るための自己点検・自己評価を実施し、その報告書に基づき、学校関係者評価委員会による学校関係者評価を年2回実施する。		
評価項目：教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、 学生受入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献、国際交流		
評価委員の構成 業界団体から1名、各学科関連企業から各1名、計5名で構成。		
評価結果の活用 当該年度の評価や意見を基に、改善案をまとめ翌々年度以降の学校運営及び教育活動に反映させ改善を目指す。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益財団法人 日本ケアフィット共育機構	2019.4.1～2021.3.31	業界団体等委員
株式会社 J T B	2019.4.1～2021.3.31	企業等委員
仙台ターミナルビル株式会社	2019.4.1～2021.3.31	企業等委員
有限会社花嫁の千登勢	2019.4.1～2021.3.31	企業等委員
株式会社日比谷花壇	2019.4.1～2021.3.31	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
ホームページ http://www.mbc.ac.jp		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

ホームページ http://www.mbc.ac.jp
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	国際マルチビジネス専門学校
設置者名	学校法人東杜学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	0人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
（備考） 今年度より施行の制度のため、前年度は適用なし。				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0 人	0 人	0 人
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下）	0 人	0 人	0 人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0 人	0 人	0 人
「警告」の区分に連続して該当	0 人	0 人	0 人
計	0 人	0 人	0 人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0 人	前半期	0 人	後半期	0 人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0 人
3月以上の停学	0 人
年間計	0 人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	人
訓告	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 （単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下）	人	人	人
GPA等が下位4分の1	人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	人	人
計	人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。